

JCAB 事業用 国内ライセンスコース

本コース申込に際しての重要注意事項（必要条件）

固定翼（本田航空）コース

本田航空への入学に際し、入学試験（書類審査、適性検査等）があります。

- 1年次12月（本田航空入学試験出願時）までに、TOEIC® Listening & Reading Test 400点以上又は公益財団法人日本英語検定協会実用英語技能検定準2級以上の英語能力を有していること。
- 1年次12月（本田航空入学試験出願時）までに、航空身体検査証明第1種相当の基準に適合する見込みがあること。（本田航空指定医療機関での受診が必要）
- 航空特殊無線技士以上の資格を入学時までに取得すること。
- 操縦訓練の実施に伴い本田航空への入学および契約手続きが必要です。

回転翼（第一航空）コース

- 航空特殊無線技士以上の資格を入学時までに取得すること。
- 操縦訓練の実施に伴い第一航空への入学および契約手続きが必要です。

- 訓練時間・期間は天候および個人の技量等により変動する場合があります。また、記載の飛行訓練時間は、あくまで平均的な訓練時間です。訓練時間は修得状況により個人差があり、追加費用が発生する場合があります。
- 記載の飛行訓練内容、飛行訓練時間・期間および訓練費は、2024年5月1日時点のものです。今後、諸状況により予告なしに変更、追加することがあります。

取得できる免許・資格



- JCAB自家用資格
- JCAB事業用・多発限定変更・計器飛行証明・飛行教官（操縦教育証明）資格



- JCAB自家用ピストン資格
- JCAB事業用・飛行教官（操縦教育証明）タービン資格

1年次

10-1月
訓練開始に向けて、各種の学科試験対策や無線資格取得に向けた学習を各自で実施

2年次

3年次

4年次

3月
学士号取得

卒業後 1年目

2年目

8月 9月



12月
本田航空
入学試験

2-3月

6-8月

2月

8月

2-3月

Aタイプ

3年次までの成績、飛行訓練状況等を踏まえ、4年次以降の飛行訓練の時期が変わります。

Bタイプ
4-5月

4-8月

9-12月

1-3月

4-5月

本田航空（大分空港）での飛行訓練
JCAB自家用(単発)を取得
飛行訓練※1：TOTAL122時間
訓練費：¥12,577,477(税込)

本田航空（大分空港）での飛行訓練
JCAB事業用を取得
飛行訓練※1：TOTAL112時間●
訓練費A：¥11,131,934(税込)

本田航空（大分空港）での飛行訓練
JCAB事業用を取得
飛行訓練※1：TOTAL112時間●
訓練費：訓練費Aに含まれます

本田航空（大分空港）での飛行訓練
JCAB多発限定変更を取得
飛行訓練※1：TOTAL29時間
訓練費：¥4,547,313(税込)

本田航空（大分空港）での飛行訓練
JCAB計器飛行証明を取得
飛行訓練※1：TOTAL46.5時間
訓練費：¥7,439,923(税込)

航空業界への就活(卒業後)
エアライン、航空機運営会社、飛行教官
(要追加飛行経験+資格試験合格)等

飛行操縦体験（任意参加）
実際に飛行教官が操縦する飛行機やヘリコプターに同乗し、フライトを体験。
まずは、空を飛ぶということを身体で感じます。

まずはJCAB自家用(単発)免許の取得をめざそう！

POINT
フライト体験後に、今後の進路を決定できる！

- 固定翼の注意事項
- ※1 飛行訓練には飛行訓練装置による訓練時間を含みます。また、各種資格取得の課程で学科教育があります。
 - ※2 3年次までの成績、飛行訓練状況等を踏まえ、本田航空および本学が協議のうえ、許可を得た者のみ選択可能。
 - ※3 4年次では、本田航空と本学を2～3週間ごとに行き来しての飛行訓練を実施します。授業や卒業研究で大学に帰京している期間は操縦訓練期間から除外されます。
- =飛行訓練時間はどのタイプを選択しても、合計で112時間です。重複するものではありません。

固定翼か回転翼、およびコースの決定

2-3月

6-8月

2-3月

8月

2-3月

第一航空（八尾空港）での飛行訓練
JCAB自家用(ピストン)を取得
飛行訓練※4：TOTAL80時間
訓練費：¥7,056,500(税込)

第一航空（八尾空港）での飛行訓練
JCAB事業用(タービン)を取得
飛行訓練※4：TOTAL100時間●
訓練費B：¥12,628,000(税込)

POINT
卒業後、何年間かお金を貯めてからでも可能！経済状況にあわせて段階的に取得もできます

4-11月

第一航空（八尾空港）での飛行訓練

JCAB事業用(タービン)を取得
飛行訓練※4：TOTAL100時間●
訓練費：訓練費Bに含まれます

航空業界への就活

自治体、消防・警察、ヘリコプター運営会社、飛行教官（要追加飛行経験+資格試験合格）等

POINT
事業用取得後、追加飛行時間、各試験を経て飛行教官（操縦教育証明）もめざせます

- 回転翼の注意事項
- ※4 各種資格取得の課程で学科教育があります。
- =飛行訓練時間は合計で100時間です。重複するものではありません。

固定翼

回転翼